

令和 7 年度
岡山大学 Alumni（全学同窓会）グローバル人材育成支援事業
【グローバル人材自己啓発奨励事業】募集要項

1. 趣旨

平成 25 年に設立された岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、その事業の大きな柱として学生支援を掲げており、就職支援やグローバル人材育成支援の実施に向けて取り組んでいます。本事業は、自己のグローバル化に向けた自己啓発活動の一環として、異文化理解やコミュニケーション能力の向上に資する大会等に参加した学生に対し、奨励金を支給することにより、学生の自己啓発を促進し、岡山大学の学生全体のグローバル化を推進することを目的としています。

2. 申請資格

岡山大学の学部学生

但し、岡山大学 Alumni 会費未納者については、支援の対象外とする。

3. 奨励金の対象となる大会等：（申請区分）

次のいずれかに該当するもの。ただし、授業の一環として参加するもの、当該国への留学中に参加するもの、休学中に参加するものを除く。なお、本申請の対象となる活動において、他の奨学金または旅費を受給する場合は申請できない。

- 1 独立行政法人の海外事務所、国際機関又は外国の公的機関における海外インターンシップ
- 2 海外（または国内）で実施するボランティア活動等で、以下の団体等が主催するもの（国内の場合、使用言語は英語で、外国人と共に活動するものに限る）
 - ①一般法人（社団法人、財団法人など）、公益法人
 - ②NPO 法人
 - ③民間企業等の法人格を有する団体
 - ④法人格を有しないが、活動実施の体制が整っている団体
（実行委員会組織等を含む）
- 3 国内（中国・四国・近畿地区を除く。）又は外国で開催される国際ユースカンファレンス等（いずれも使用言語は問わない。）で、各省庁、独立行政法人若しくは国際機関等が主催若しくは後援するもの又は外国の公的機関が主催するもの
- 4 国内（中国・四国・近畿地区を除く。）で開催されるディベート大会、プレゼンテーションコンテスト等（いずれも使用言語は問わない。）で、各省庁、独立行政法人、地方公共団体又は各国大使館・領事館等が主催するもの

4. 奨励金支給限度額：（地域区分）

- 1 アジア 3 万円
- 2 アジア以外 5 万円
- 3 日本国内 2 万円

※上記はあくまでも支給限度額とし、活動内容や活動期間等を総合的に判断した結果、減額あるいは認められないことがある。また、多数の申請があった場合は、自ら発表を行ったものを優先する。

5. 支援件数

年間 20 件程度（年間予算規模約 70 万円）

6. 申請方法

申請は事後とし、次の申請書類を〔表 1〕に記載の期日までに下記提出先に提出する。なお、一人あたりの年間採択件数は 1 件までとする。

- a 申請書（様式 1 および様式 2）※Word で作成
- b 指導教員等の推薦書（様式任意）
- c 大会等の概要がわかる書類の写し（パンフレット等）
- d 大会等で体験した内容等のレポート（指定様式なし）※Word で作成
- e 大会等への参加を証する書類の写し（大会参加者名簿、名札等）
- f 振込申出書（別添様式）※Excel で作成

7. 申請書類提出先：

メールで提出するもの

- ・申請書（様式 1 および様式 2）
- ・大会等で体験した内容等のレポート
- ・振込申出書（別添様式）

※申請書等の形式（Word、Excel）は変更せず、そのままご提出ください。

PDF 等に変換しないでください。

グローバル人材育成院 global@adm.okayama-u.ac.jp

学務部国際教育推進課窓口へ提出するもの

- ・指導教員等の推薦書（様式任意）※原本
- ・大会等の概要がわかる書類の写し（パンフレット等）
- ・大会等への参加を証する書類の写し（大会参加者名簿、名札等）

学務部国際教育推進課

〒700-8530 岡山市北区津島中二丁目 1 番 1 号（一般教育棟 C 棟 1 階西）

TEL：086-251-8552

8. 選考方法

申請書類により選考

9. 選考結果

申請者に対して通知予定

10. その他

申請書類に記載された個人情報、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意します。ただし、奨励金が支給されることとなった方については、申請書類に記載された内容を、広報誌、ホームページ等、Alumni および岡山大学の広報活動で使用させていただくことがあります。（電話番号、メールアドレスは除く）また、Alumni 会報への寄稿および総会等での発表や出席をお願いさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

〔表 1〕

	対象期間 (大会等に参加した 最終日が属する期間)	申請書提出期日	選考結果通知
令和 7 年度 (第 1 回) 募集 ※1	令和 7 年 4 月 ～令和 7 年 9 月	令和 7 年 10 月 10 日(金)	令和 7 年 12 月末頃
令和 7 年度 (第 2 回) 募集 ※2	令和 7 年 10 月 ～令和 8 年 3 月	令和 8 年 4 月 10 日(金)	令和 8 年 7 月末頃

※1 令和 7 年 6 月卒業、令和 7 年 9 月卒業（予定）者も応募可。ただし、大会等に参加した最終日が卒業（予定）日以前であること。

※2 令和 7 年 12 月卒業（予定）、令和 8 年 3 月卒業（予定）者も応募可。ただし、大会等に参加した最終日が卒業（予定）日以前であること。

〔表 2〕

過去に奨励金が支給された例

申請 区分	地域 区分	開催場所	大会等	主催	後援
1	1	インドネシア	AMDA-MINDS 海外参加研修 (インターン)	国際協力NGO AMDA-MINDS	－
2	1	ミャンマー	ミャンマー岡山大学医学生 交流プログラム	NPO法人 ミャンマー医療人支援協会, 岡山大学	－
		カンボジア	カンボジア 村の学校で 日本語・英語教育	一般社団法人 ボランティアプラットフォーム	－
		カンボジア	カンボジア インターンシップ型スタディーツアー	一般財団法人 日本アジア振興財団	－
		フィリピン	CECセブ・ボランティアプログラム	CECジャパンネットワーク 株式会社	－
	3	国内	HLAB TOKUSHIMA	一般社団法人 HLAB	－
3	1	カンボジア	University Scholars Leadership Symposium (国際学生リーダーシップシンポジウム)	Humanitarian Affairs UK	国連経済社会局, UNESCO, カンボジア文部省
		インド スリランカ	次世代グローバルリーダー事業シップ フォー・ワールド・ユース・リーダーズ	内閣府	－
		台湾	日米学生会議	一般財団法人 国際教育振興会	外務省, 文部科学省, 米国大使館, 一般社団法人日米協会
		ブルネイ	The 19th ASEAN and 9th ASEAN+3 Youth Cultural Forum	ASEAN University Network	－
	2	アメリカ	NATIONAL MODEL UNITED NATIONS (模擬国連大会)	National Collegiate Conference Association	UN Department of Public Information 国際連合広報局 ほか
		オーストラリア	「世界青年の船」事業	内閣府	－
		韓国	ICM Model UNESCO Conference	UNESCO ICM	－
	3	国内	日米学生会議	一般財団法人 国際教育振興会	外務省, 文部科学省, 米国大使館など
		国内	TSUKUBA ENGLISH MODEL UNITED NATIONS	筑波大学グローバル教育院	－
		国内	The 65th International Student Conference	国際学生会議	外務省, 文部科学省ほか
4	3	国内	国際学生シンポジウム	国際学生シンポジウム 運営委員会	外務省, 経済産業省, JICA, 国際交流基金, 日本経済新聞社
		国内	外務省主催 国際問題プレゼンテーションコンテスト	外務省	－